

施設整備の概要は以下のとおりとなっています。

<施設建築物>

Aビル	店舗・公益施設ビル	階数（地下1階地上5階）
Bビル	店舗・事務所ビル	階数（地下1階地上10階）
Cビル	住宅・駐車場（230台収容）ビル	階数（地下1階地上8階）
Dビル	事務所等ビル	階数（地下1階地上5階）

<公共施設>

駅前広場 3,700㎡  
六甲道駅前線 幅員15m

なお、駅舎のコンコースと駅前広場及びAビルの2階はデッキで結ばれ、一体性が保たれています。また、駅前広場には滝や池を設けて、市民が憩える空間となっています。

(2) 駅北地区

次に、駅北地区については、駅南地区が先行して事業化されているうちに地元状況の変化と都市再開発法の施行という新たな要因も重なったため、昭和54年に公共団体施行の市街地再開発事業として新たに都市計画決定を行い、事業が進められました。

施設整備の概要は以下のとおりとなっています。

<施設建築物>

ビル1棟	地下2階	駐車場（76台収容）
	地下1階～地上2階	核店舗を含む77店舗と公益施設
	地上2階～地上13階	住宅154戸

<公共施設>

駅前広場 3,800㎡  
六甲道駅前線 幅員15m

なお、駅前広場は南側の既存の駅前広場との機能分担を図り、バスターミナルを集約するとともに花壇を設けるなど、市民の潤いのある広場となるよう計画されています。

4 現在の状況

六甲道駅周辺地区は、これまでに公共団体施行の再開発事業を実施するなかで先行的・集中的に公共施設を整備し地域の発展の可能性が高まり、基盤整備を市が行うのに合わせて民間主導型の再開発事業が周辺地区に広がっていき地域全体の総合的な整備が現在も進められています。

5 事業実施上の問題点

再開発事業をスタートさせるにあたって、一番の問題点は、予定区域の権利者の方々の①に駅前広場や進入道路の整備など、周辺地域の人々の利便性向上のために何故自分達が犠牲にならないのかということ、②にビルの建設・完成後の維持管理にかかる費用負担の問題、③に近代的なビルの中で商売を続けられるかという不安です。JR六甲道駅の場合、特に駅北地区でそういう声が多かったようですが、駅南地区の繁栄・発展という事例が目の前にありましたので、駅北地区でも事業の完成をみる事ができたそうです。

鈴蘭台駅周辺整備についての御意見、ご要望があれば下記までお寄せ下さい。

お問い合わせ先

鈴蘭台駅周辺整備を考える会事務局・神戸市北区役所まちづくり推進課

〒661-1111 北区鈴蘭台西町1丁目25番地1号

電話 078-593-1111 (内線213)